



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集：常務理事会 電話03(3225)5600 FAX03(3354)0046
URL：http://www.zennancho.or.jp e-mail：zennacho@zennancho.or.jp

第7回 国際難聴者会議（フィンランド、ヘルシンキ）開催

報告 理事長 高岡正

7月3日から10日まで、フィンランドはヘルシンキで開催された第7回国際難聴者会議に参加してきました。代表団と観光団、通訳、JTBなど総勢60名になりました。全国の協会の皆様には代表団派遣金をありがとうございました。全要研にも情報保障者の費用負担と選任をありがとうございました。

国際難聴者会議は4年に一度オリンピックのある年に開催されています。医学的な発表と難聴者の生活にかかわる発表が半々くらいです。今年のテーマは「アクセシブル・コミュニケーション」で、日本からは、要約筆記の普及、字幕放送の拡充、災害対策、就労問題、病院受信ガイドブック、情報バリアフリー規格制定の7編の発表をしました。要約筆記と字幕放送の報告に質問が多く、関心の割合が伺われました。参加している難聴者のほとんどが補聴器で聞こえる人で手話を使う人は見当たりませんでした。中国が加盟を申請予定。2008年はカナダ・バンクーバーで開催。詳しくは、全難聴国際部のHPを。
http://www.zennancho.or.jp/international/7th_congress/report.html

全難聴の代表団派遣カンパがまだ不足しています。さらにご協力をお願いします。

国際難聴者会議支援募金協力(団体・企業)リスト (順不同)

協会名	協会名	協会名	協会名	団体・企業など
青森県	川崎市	福岡市	山口県	長崎県・市要約筆記関係団体
宮城県・仙台市	埼玉県	横浜市	福岡県	有限責任中間法人 日本補聴器工業会
千葉県	東京都	大阪府	北九州市	有限責任中間法人 日本補聴器販売店協会
さいたま市	新潟県	京都市	宮崎市	ワイデックス株式会社
愛知県	富山県	京都府	長崎県	アシストホーン株式会社
静岡県	大阪府	広島県	鹿児島県	個人での篤志もいただいています。
奈良県	大阪市	滋賀県		
福井県	神戸市	島根県		7月25日現在 ￥1,238,964

ありがとうございました。

第2回理事会が開催される

・ ・ 常務理事補充と専門部体制 ・ ・

6月20日(日)全国身体障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)特別会議室において理事会が開催されました。

第1号議案として常務理事の補充について取り上げられ、賛成多数で大阪府協会会長の上野哲人さんが常務理事に選任されました。

第2号議案では、理事・部長体制について、5月開催の平成16年度第1回通常総会における役員選任を踏まえ、新しい役員体制を早急に確立するため、組織体制および人選について決定しました。

「担当理事」の位置づけや部長との役割分担について議論した結果、専門部長については組織上の問題、責任を明確にするという意味から、理事から選出することとしました。ただし階層別専門部(高年部、女性部、青年部)はこれまで通り部内で部長を選出するが、理事会との関係を強めるため担当理事を置くことを確認しました。副部長および部員については部長の専決事項とし、副部長については理事以外からも選任できることを確認しました。以上の基本的方針を踏まえ、次のように部長、副部長等を決定しました。なお各部員については、理事のみの氏名を掲載します。

専門部名	部長(理事)	副部長	部員
中央対策	高岡 正	森 孝一	川井 節夫 藤田 勉
要約筆記部	宇田 二三子		松本 隆一(PC要約筆記担当) 上田 牧子(広域派遣担当)
組織部 青年部(担当) 女性部(担当) 高年部(担当) 大会担当	上野 哲人 呉竹 一人 有延 八千代 久我 祐一 清成 幸仁	清成 幸仁	各ブロック長 北海道・東北・関東・北越 東海・関西・中四国・九州
情報文化部	(仮) 高岡 正		
人工内耳部	上田 牧子		
補聴器対策部	佐野 昇		
機関誌部	宮野 正		
耳マーク部	長田 由美子	酒井 宏子 有延 八千代	宮野 正
国際部	瀬谷 和彦	山口 武彦	

中央対策は理事会専任事項で専門部ではありませんが、掲載します。

助成事業担当清成幸仁は理事会専任事項で専門部ではない。

岐阜市中途失聴・難聴者協会の加盟申請について

6月14日付けで加盟申請が出された岐阜市中途失聴・難聴者協会について、書面審査の結果、承認することとしました。

■岐阜市中途失聴・難聴者協会(東海ブロック)

会長: 亀山 康裕 副会長: 西松 透 事務局長: 松原 弘造

(連絡先) 〒501-1108 岐阜市安食志良古26-243 亀山康裕方 FAX 058-235-7377

福祉医療機構助成事業 進捗状況

平成16年度独立行政法人福祉医療機構助成事業は「要約筆記通訳者養成等に関する調査研究事業」として、要約筆記通訳者養成講習会のモデルとなるカリキュラムの作成、指導案と指導方法について、調査・研究します。この事業の第1回調査研究事業委員会等合同委員会が6月19日(土)東京で開催されました。当日は、厚生労働省社会参加推進室田村室長補佐にもご参加いただき、国や自治体の財政負担の問題である三位一体改革、地方自治体への税源移譲などを絡めたご講話を頂きました。

当事業は聴覚障害者全般に関わってくる問題にとらえ、全難聴理事の他、(財)全日本ろうあ連盟、NPO法人全国要約筆記問題研究会、日本手話通訳士協会等各方面の関係者を委員に招き、親委員会・実態調査委員会・調査研究委員会に分け1年間に6回かけて協議していきます。当面は現在の要約筆記に関する実態やユーザーのニーズについて全国的なアンケート調査を実施していくことになります。次回は8月21日に東京にて調査内容に関する協議を開催します。

要約筆記討論集会 第8回全国要約筆記問題討論集会(東京)

今年は「通訳としての要約筆記を考える」を全体テーマとして下記要項で開催されます。

中途失聴・難聴者と要約筆記者が各々のテーマに沿った論文を提出し、集まって討論を行い、問題点の整理や解決方法を見いだしていきます。

- | | |
|--------|---|
| 主 催 | 特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会
社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 |
| テーマ | 第1分科会 「要約」
第2分科会 「通訳後のロール、ログの扱い」
第3分科会 「養成講座について」 |
| 開催日時 | 平成16年11月13日(土) 13時～14日(日) 15時まで |
| 会 場 | 武蔵野公会堂(武蔵野市吉祥寺) |
| 募集定員 | 90名 |
| 参加資格 | 全要研・全難聴会員で、論文を提出した人 |
| 参加費 | 4000円 |
| 申込期間 | 平成16年9月1日(水)～30日(木) |
| 論文提出期限 | 平成16年9月30日(木) 必着 |
| 問い合わせ先 | 研究討論集会事務局 小野寺晶子
TEL/FAX 03-3851-6689 |

事務所夏季休業のお知らせ

全難聴事務所は、8月13日(金)～16日(月)までの4日間、夏季休業とさせていただきます。その間もメール、FAXは受信致しますが、ご連絡等が遅延する場合がございますのでご了承下さい。

第11回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 東京

「オープンカレッジ」&「聞こえの商店街」

・ ・ 東京大会への参加申込を ・ ・

実行委員長 木村昭夫

10月8日(金)～11日(月祝)の4日間、東京・市ヶ谷で開催に向けて、実行委員会では着々と準備を進めております。リーフレットをご覧くださいませでしょうか。お申し込みはお済みでしょうか。9月8日(水)が第1次締め切り日となっております。それを過ぎますと参加費は割高になります。早目にお申し込みをお願い致します。

「オープンカレッジ」では19の講座を設けました。2コマ選択してお申し込みができます。なお、2日間通しの講座をご希望の場合、2コマ扱いとなります。開講時間に十分ご注意の上、お申し込みください。

また、懐かしい仲間との交流を深めるパーティー「東京の調べ」にも力を入れております。前半の天満敦子さんのヴァイオリンを、参加者全員が楽しめるように映像などの視覚情報、補聴機器を総動員しようと工夫・研究中です。後半は交流する時間もたっぷり設けています。食事・飲み物も吟味してお届けする予定です。ご期待ください。

当日、みなさまにお会いできることを楽しみにしております。URL：www.tonancyo.org/2004/

新潟・福島、福井豪雨のお見舞い

・ ・ 緊急災害時連絡・支援について ・ ・

異常気象との関係が取り沙汰されていますが、7月13日「新潟・福島豪雨」と7月17日「福井豪雨」に被災され、直接被害が心配された地域のみなさまにお見舞い申し上げます。今回は100年に一度と言われる豪雨に見舞われ、いずれも大きな被害がありました。

6月には新潟での全要研集会「情報アクセス分科会」・ ・もしも・ ・に備えて・ ・が現実のものとなってしまいました。全難聴と全要研では、阪神・淡路大震災の教訓に基づき「災害対策マニュアル」の作成から「災害対策委員会」を立ち上げて、行政や関係機関への提出文書の作成などに取り組むと同時に、発災が予想される地震・台風などに関する情報発信に取り組んできました。また、日本リハビリテーション協会における「災害時情報保障委員会」へも参画し緊急時・災害時における「情報伝達の在り方」を研究・討議してきました。神戸の震災センターの視察やシンポジウム開催への参画を経て、新潟では今までの取組みを紹介してきました。

災害対策委員会では、「お願ひ文書」の配布と災害時連絡網の整備をお願いしていますが、各地域で取組みを進めていただいていると思います。まだの地域では、協力をお願い致します。

新潟全要研分科会で紹介しました「アイモード災害用伝言板」が今回の新潟・福井でも実際に開設され、利用することができました。使用方法是配布のチラシをご覧ください。ドコモショップでも手に入ります。音声で録音・再生するのが「災害用伝言ダイヤル171」ですが、「アイモード災害伝言板」はメール機能を利用した災害時専用のNTTドコモのサービスです。伝言板の確認はドコモ以外の携帯電話や家庭のパソコンからも確認する事ができます。連絡網整備の時に加えていただければ音声通話のできない方でも自分の安否情報を伝えたり確認したりできます。利用の方法を普段から熟知しておくことがいざという場合に役に立つと思います。